

- (1) 炉・厨房設備・温風暖房機・ボイラー
給湯湯沸設備・乾燥設備・サウナ設備
ヒートポンプ冷暖房機
火花を生ずる設備・放電加工機

設置届出書

(3) (あて先) □松山市消防局長 □松山市(中央・東・南・西)消防署長		(2)年 月 日		
届出者住所 氏名		(4) 電話 番		
防火対象物	所在地	(5) 電話 番		
	名称	(6)	主要用途 (7)	
設置場所	用途	(8)	床面積 (9) m ²	
	構造	(10)	階層 (11)	
届出設備	設備の種類	(13)		
	着工(予定)年月日	(14)年 月 日	竣工(予定)年月日 (15)年 月 日	
	設備の概要	(16)		
	使用する熱料・熱源・加工液	種類	使用量	
		(17)	(18)	
	安全装置	(19)		
取扱責任者の職氏名	(20)			
工事施工者	住所	(21) 電話 番		
	氏名	(22)		
※ 受付欄		※ 経過欄		

備考

- この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。
- 法人にあつては、その名称、代表者氏名、主たる事務所の所在地を記入すること。
- 階層欄には、屋外に設置する設備にあつては、「屋外」と記入すること。
- 設備の種類欄には、鉄鋼溶解炉、暖房用熱風炉、業務用厨房設備等を記入すること。
- 設備の概要欄に書き込めない事項は、別紙に記載して添付すること。
- ※印の欄は記入しないこと。
- 当該設備の設計図を添付すること。

【炉等設置届出書記載要領】

項目		記載要領
(1) 届出種別		該当する設備を○で囲んでください。
(2) 年月日		届出書を提出する年月日を記入してください。 (例) 令和〇〇年〇月〇日
(3) あて先		消防局長又は消防署長あてとなりますので、□にチェックして選択します。通常は、当該設備を設置する住所を所轄する消防署長あてとなりますので、該当の消防署を表すように()内のいずれかの丸をつけてください。町名ごとの所轄区分については、「所轄消防署一覧」を参照してください。 (例) 「松山市南消防署長」あての場合 (あて先) □松山市消防局長 ■松山市(中央・東・ 南 ・西)消防署長
(4) 届出者		当該事業所の管理について権原を有する者の住所・氏名・電話番号を記入してください。(ただし、法人の場合は法人の住所、名称及び代表者職・氏名を記入してください。)
防火対象物	(5) 所在地	当該防火対象物の所在地及び電話番号を記入してください。
	(6) 名称	当該防火対象物の名称を記入してください。
	(7) 主要用途	当該防火対象物の用途を政令別表第1に掲げる用途区分に応じて記入してください。
設置場所	(8) 用途	設置する場所の用途を具体的に記入してください。
	(9) 床面積	設置に要する床面積を記入してください。
	(10) 構造	設置する場所の構造を記入してください。
	(11) 階層	設置する階層を記入してください。なお、屋外に設置する場合は、「屋外」と記入してください。
	(12) 消防用設備等又は特殊消防用設備等	当該設備を設置することにより設置が必要となる消防用設備等の種類及び数又はそれに代えて設置する特殊消防用設備等を記入してください。 (例) 消火器(1本)
届出設備	(13) 設備の種類	設備の種類を記入してください。(配置図を添付してください。)(例) 鉄鋼溶解炉、暖房用熱風炉等
	(14) 着工(予定)年月日	設備を設置しようとする年月日を記入してください。
	(15) 竣工(予定)年月日	設備が完了する年月日を記入してください。
	(16) 設備の概要	設備の概要を記入してください。なお、欄内に書き込めない場合は別紙を添付してください。
	(17) 種類	使用する熱料・熱源及び加工液の種類を記入してください。

届出設備	(18) 使用量	使用する燃料・熱源及び加工液の使用量を記入してください。
	(19) 安全装置	安全装置の種類を記入してください。
	(20) 取扱責任者の職氏名	取扱責任者の職氏名を記入してください。
工事施行者	(21) 住所	工事を施工する者の住所及び電話番号を記入してください。
	(22) 氏名	工事を施工する者の氏名（法人の場合は会社名及び職氏名）を記入してください。